

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2002-320971(P2002-320971A)

【公開日】平成14年11月5日(2002.11.5)

【出願番号】特願2001-129606(P2001-129606)

【国際特許分類】

C 02 F	1/469	(2006.01)
B 01 D	61/48	(2006.01)
C 02 F	1/20	(2006.01)
C 02 F	1/42	(2006.01)
C 02 F	1/44	(2006.01)

【F I】

C 02 F	1/46	1 0 3
B 01 D	61/48	
C 02 F	1/20	A
C 02 F	1/42	A
C 02 F	1/42	B
C 02 F	1/44	H

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月10日(2008.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

脱塩室及び濃縮室を設けてなる電気再生式純水製造装置を用いて純水を製造するに当たり、該濃縮室には、予備的精製処理が施された被処理水の一部が濃縮水として供給され、濃縮水の流路にアルカリ剤を注入して濃縮水をアルカリ性となすことを特徴とする電気再生式純水製造方法。

【請求項2】

脱塩室及び濃縮室を設けてなる電気再生式純水製造装置を用いて純水を製造するに当たり、該濃縮室には、予備的精製処理が施された被処理水の一部並びに該濃縮室から流し出濃縮室に循環される循環濃縮水が供給され、該循環濃縮水の流路にアルカリ剤を注入して循環濃縮水をアルカリ性となすことを特徴とする電気再生式純水製造方法。

【請求項3】

濃縮水のpHは9.0から11.0の範囲内に調整されることを特徴とする請求項1記載の電気再生式純水製造方法。

【請求項4】

被処理水の予備的精製処理は、逆浸透膜装置、イオン交換装置及び脱炭酸装置を経てなされることを特徴とする請求項1～3のいずれか一項に記載の電気再生式純水製造方法。

【請求項5】

脱塩室及び濃縮室を設けてなる電気再生式純水製造装置において、該濃縮室に供給される予備的精製処理が施された被処理水の流路にアルカリ剤を注入するアルカリ注入設備を設けたことを特徴とする電気再生式純水製造装置。

【請求項6】

脱塩室及び濃縮室を設けてなる電気再生式純水製造装置において、該濃縮室に循環される濃縮水の循環流路にアルカリ剤を注入するアルカリ注入設備が設けられることを特徴とする電気再生式純水製造装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記目的を達成するものであって、その発明の一つの要旨は、脱塩室及び濃縮室を設けてなる電気再生式純水製造装置を用いて純水を製造するに当たり、該濃縮室には、予備的精製処理が施された被処理水の一部が濃縮水として供給され、濃縮水の流路にアルカリ剤を注入して濃縮水をアルカリ性となすか、或いは該濃縮室には、予備的精製処理が施された被処理水の一部並びに該濃縮室から流出し濃縮室に循環される循環濃縮水が供給され、該循環濃縮水の流路にアルカリ剤を注入して循環濃縮水をアルカリ性となすことを特徴とする電気再生式純水製造方法に存する。また、他の要旨は、脱塩室及び濃縮室を設けてなる電気再生式純水製造装置において、該濃縮室に供給される予備的精製処理が施された被処理水の流路に、或いは該濃縮室に循環される濃縮水の循環流路にアルカリ剤を注入するアルカリ注入設備を設けたことを特徴とする電気再生式純水製造装置に存する。